

10	読む
古文の特徴をつかむ 〔知識・技能〕	
名前	解答

やってみよう 「解答と解説」

- | | |
|--|--|
| 一 (1) 言ふ
(3) あはれに
(5) かうかう
(7) 書かむ
(9) まうで | 「 いう
「 あわれに
「 こうこう
「 かかん
「 もうで |
| (2) 言へども
(4) やうやう
(6) こゑ
(8) をかしき
(10) めど | 「 いえども
「 ようよう
「 こえ
「 おかしき
「 いど |

古文の文章は、文語で書かれています。この文語は、歴史的仮名づかいで表記します。歴史的仮名づかいの読み方のルールをマスターすれば、現代仮名づかいに直すことができるようになります。また、声に出して何回も読むことで、読み方がマスターでき、文語文をスラスラと読むことができるようになります。

二 (1) よろず つかいけり なん

うつくしゅうて いたり

(2) ア ・野や山に分け入って、竹を取っていたのは「翁」ですから、
 答えはアになります。

(3) イ ・「三寸くらの人」(B) 非常にかわいらしい様子で座っていた「
 のBに入る助詞を選びます。だれが「座っていた」のか、その
 主語に当たるところなので、主語を表す「が」を選びます。

(4) ウ

ア

分からない言葉に出会ったら『古語辞典』で意味を調べるとよいでしょう。『古語辞典』で言葉を調べるときには、活用する語句は終止形で引かなければなりません。最初は難しいですが、何回も辞書を引くことで、簡単に引けるようになります。